平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） ３８ ※記入不要	提案機関名	横須賀三浦地域農業改良普及センター

要望問題　UV 加工作業着の UV 効果の持続性について

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】

女性農業者の農作業時の日焼け対策として、三浦半島地区では、UV 加工布の作業着の利用推進を図ってきた。現在、普及センターが把握しているだけで、着用している農家は約１００戸にのぼる。

以前に UV 加工布の特性試験（耐光試験、洗濯試験、遮蔽率測定等）を実施し、結果を得ている。しかし、利用者のほとんどが、毎日着用し、その都度洗濯をするため、１年経つと買い換えが必要となるほど作業着の傷みが激しく、ＵＶ効果の持続性について問われている。

そこで、利用者の使用状況に合わせた、洗濯試験による UV 効果の持続性についての試験の実施を要望する。また、最近では UV 効果をうたう洗濯用洗剤が市販されているが、その利用効果について調査、研究をお願いしたい。

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	①研究所対応　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（ ②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ） ⑨自然環境保全センター

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所
部　　署：	生産技術部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可
試験研究課題名	（①、②、④の場合）

対応の内容等

三浦半島地区では UV 加工布の作業着が普及しており、ご要望のとおりその耐久性評価の必要性があると考えられますで、UV カット効果の持続性調査に協力します。

貴所が過去に産業総合研究所で実施した布の特性調査では、カーボンアーク燈光試験(JISL0842)、洗濯試験(JISL0844)及び透過率(360nm･305nm)のデータを取得されております。当所では、このうち分光光度計を用いた UV 加工布の透過率の計測が可能です。具体的なサンプリング方法や測定方法などについては相談させて下さい。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
備　考	